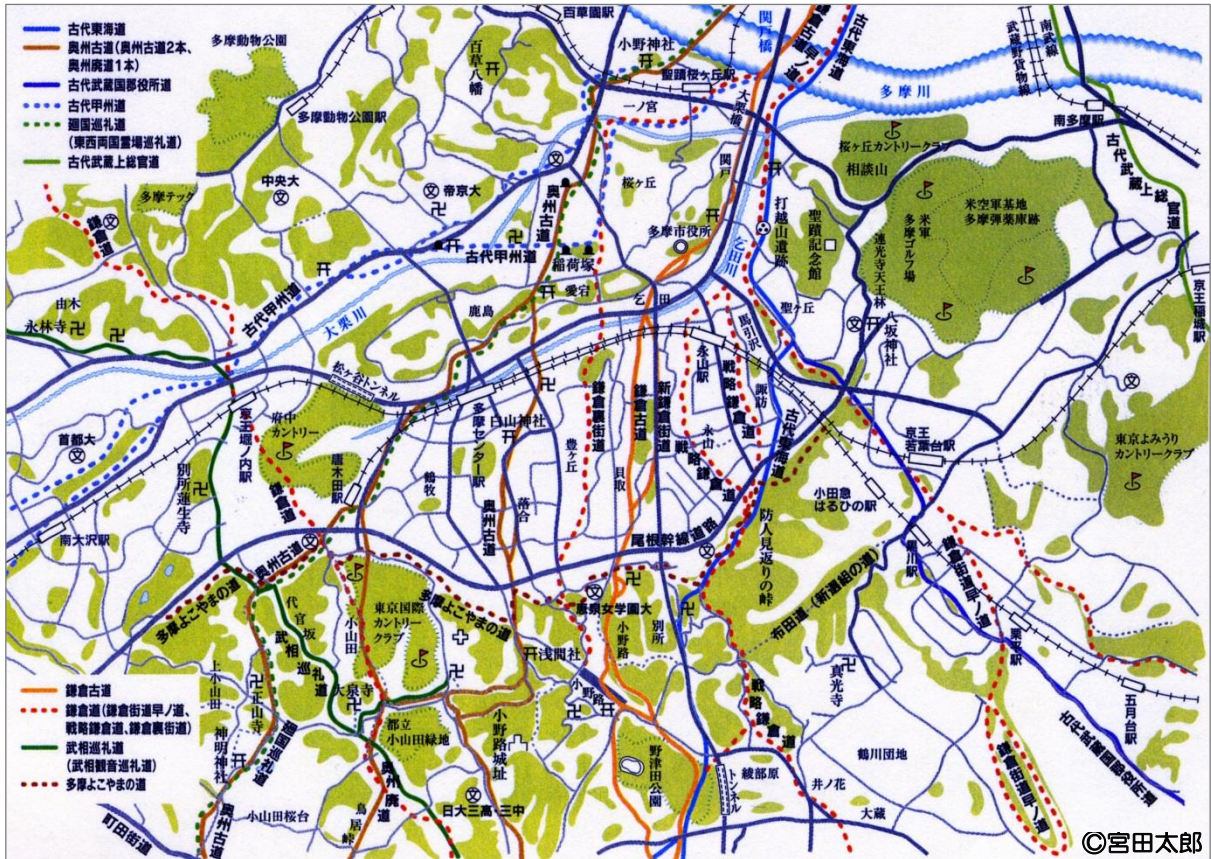


多摩丘陵の古街道集中地帯概念図 (ただし東は稲城市、西は八王子市南大沢エリアまで)



なぜ「多摩丘陵」が古街道研究のメッカであり、面白いのか！

東京都と神奈川県に跨っている「多摩丘陵」一帯は、わずか40数年前まで、全面に里山風景が広がる美しい野山に覆われていたのですが、いつの間にか計画的な新都市づくりや各地での宅地開発により、当時の風景が大きく変わってしまいました。それでも、奇跡的に里山として残された旧存地域（町田市小野路、小山田、野津田、相原、川崎市麻生区黒川など）は、依然として虫食い状態ながら深い緑地帯や田園風景などの懐かしき多摩丘陵の姿を残してくれています。

なぜ東京都と神奈川県に跨っている「多摩丘陵」が古街道探索や研究のメッカであり、面白いのか——日本列島の地図を広げてみればだんだんと見えてくるはずです。ちょうど関東平野は日本列島の真ん中に位置しています。東西日本の相互が往来し交流してきた重要な交通路が集中的に集まり、越えていくべき場所・越えなければならない場所が「多摩丘陵」にあったことがみえてくるのです。つまり、古代からの古街道の記憶が、乗り越えていった各所に刻み残されている可能性が高いわけなのです。

多摩丘陵（西部）の「古街道集中地帯」のダイナミズム

多摩丘陵の西部エリアだけでも、古代から近世まで約12本の重要な古街道が集束する地だということが判明してきています。これを熊野古道のように縦

称して「多摩古道」とでも呼んでいただけたら嬉しいです。

何がスゴイかというと、古代から中世の古街道が、ここにあったことが今この現代で初めてわかったからなんです。もちろんアカデミックにそれを証明できる時代になりましたし、空想ではなかったことがいよいよ理解される時がようやくやって来たのです。わたしが常々言ってきたのは、古代に始まる東西日本の重要な交流の道が実際に何本も当地を通過していた！という、高い価値が考えられるからなのです。

——と、ここまでが概略。ここから下は、詳しく知りたい方が読み進めてくださいね～。

【多摩古道を、より詳しく知りたい方へ】

★12本の主な古街道の紹介です。

多摩丘陵西部を越える12本の古街道

- ①古代東海道 ②奥州古街道（奥州古道2本、奥州廃道1本） ③古代甲州道
④関東山ノ辺の道 ⑤古代武蔵国郡役所道 ⑥古代武蔵上総官道 ⑦鎌倉街道上ノ道（上道） ⑧鎌倉街道早ノ道 ⑨軍事戦略鎌倉道 ⑩鎌倉裏街道 ⑪鎌倉街道山ノ道（秩父山ノ道） ⑫武相巡礼道（武相観音巡礼道、東西日本霊場巡礼道）

- ① 「古代東海道」＝律令国家が飛鳥～奈良時代に全国に張り巡らさせた古代官道の内の一つ。奈良の平城京まで続いた防人の道。藤原京や平城京から常陸国（茨城県）への官道（駅路）
- ② 「奥州古街道（あづま道）」＝京都にあった平安京から、東北地方の仙台にあった陸奥国府・多賀城や平泉、さらには青森へと伸びていた準官道（伝路）
- ③ 「古代甲州道」＝甲斐国と武蔵国を結んだ道（多摩ニュータウンエリア大栗川沿いの約1千か所の遺跡に関わる重要な古街道）
- ④ 「関東山ノ辺の道」＝秩父山地や丹沢山地の麓を南北方向に古代以来ずっと往来した“山の民と海の民の交流の道”
- ⑤ 「古代武蔵国郡役所道」＝武蔵国が管掌していた可能性の高い東京湾側の湊への道。国府～都筑郡衙～久良郡衙～金沢六浦湊
- ⑥ 「古代武蔵上総官道」＝武蔵国府～稲城～麻生区万福寺～鶴見川の早野で⑤に合流——などの古代街道群です。

国府府中から多摩丘陵越えて金沢六浦湊に向かうルートには、2ルートの郡役所道の⑤「古代武蔵国郡役所道」と⑥「古代武蔵上総官道」があり、朝廷があった奈良の都との間を海上交通で結ぶための公道でした。

これらのうち、①「古代東海道」は発掘調査で一部が確認され（多摩市 打越山遺跡）、さらに南方には800Mという大規模な切通し状の窪地遺構（町田市野津田上ノ原＊野津田公園東側）も確認できます。ここでは、すでに鎌倉街道上ノ道遺構（野津田上の原遺跡）も発掘調査で確認されており、重要な古街道が集まる当地の歴史的意義はとて高いことがわかります。一日も早い保護・保全の対応を国（文化庁）へも訴えていきたいと思えます。

また、④「関東山ノ辺の道」については、現在は以下の2本の古道（㊶、㊷）が奇跡的に遺され、当時の歴史景観そのまま山林内に現存しています。

㊶「御殿峠古道（日光道、川越道、小田原道）」＊国道16号線の原型。

㊷「相原七国峠古道（高麗人大移動の道、古代の土器や瓦づくりの工人たちの

道、羽黒三山信仰の道、生糸街道)」(以上は八王子市南部～町田市域)。

今回は、多摩丘陵を越える 12 本の古街道群の中で「古代の道」について紹介しましたが、次回の TAROS'コラム No.4 では、「中世の道」をテーマに、多摩丘陵に遺る鎌倉～室町時代の軍事街道「鎌倉街道」や、発見した城砦群についてお話していきます。

江戸時代の「徳川家康の道」や「相模大山道」、「新選組の道」などを順次紹介し、最後に、最古の縄文ロードについてお話します。

☆これからも続く現地探索ウォークで、詳しい研究資料を使って説明していきます。実際に現地を探訪することで実感できるものと思いますので、今後のスケジュールをご参考に、お気軽に現地活動にご参加下さい。

<現地探索ウォーク予定> 申込不要 現地受付(詳しくはHPをご覧ください。)

*2019.12/21(土) 小野路五反田～野津田上ノ原 鶴川駅 9:30 集合

歴史古街道団ホームページ <https://www.rekkodan.com/>